

2024 年 8 月 6 日

臨時レポート

8 月 6 日の弊社運用ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024 年 8 月 6 日、弊社が運用するファンドのうち、以下ファンドの基準価額が前日比で 5%超下落しました。
以下、該当ファンドおよび基準価額の下落要因についてお知らせいたします。

<2024 年 8 月 6 日時点で基準価額が 5%以上下落したファンド>

	基準価額	前日比	騰落率
JP4 資産バランスファンド(成長コース)	18,291 円	▲1,112 円	▲5.73%

◆基準価額変動の要因

8 月 2 日の米国株式市場の下落の流れを受けた 5 日の国内株式市場は、日米の金融政策の違いに伴う円高・ドル安が輸出関連企業の収益を圧迫するとの懸念に加え、米長期金利の低下を受け、国内金利も大きく低下していることから銀行株などを中心に寄り付きから全面安の展開となりました。その後も相場急落で信用取引の追加証拠金が発生した個人投資家の換金売りなども加わり、日経平均株価の下げ幅は米国株の急落が世界に飛び火した 1987 年のブラックマンデー翌日の 3,836 円安を超えて過去最大となり、日経平均株価・TOPIX はそれぞれ年初来安値を更新しました。また、為替市場は、米連邦準備理事会(FRB)が 9 月にも利下げに踏み切るとの観測が高まり、米金利の急低下で日米金利差が縮小したことに加え、株価急落に伴い投資家心理が萎縮し、リスク回避目的の円買い・ドル売りが勢いづきました。

上記を受けて、組入投資信託証券のうちの国内株式が特に大きく下落し、当ファンドの主な値下がり要因となりました。

※当ファンドの基準価額は、下記に則り、組入投資信託証券の基準価額を用いて日々算出されます。

国内株式ファンド、および国内債券ファンドは前営業日の基準価額を使用

海外株式ファンド、および海外債券ファンドは同営業日の基準価額を使用

◆今後の運用方針について

国内株式市場は、急速な円高進行による輸出関連企業の業績への影響や、米国の景気減速懸念などに加え、相場急落で信用取引の追加証拠金が発生した個人投資家の換金売りなども加わり、過去最大の大幅下落となりました。ただし、海外株式市場の下落幅が限定的であることをふまえると、国内における短期的なポジション解消の動きがひと段落すれば、国内景気が緩やかな回復傾向にある点や、企業の資本効率改善に向けた動きが再評価され、市場は徐々に落ち着きを取り戻すと想定します。

弊社は運用しているファンドに関し、今後の状況を注視しつつ、引き続き、組入投資信託証券を通じて日本株式、日本債券、海外株式、海外債券に基本配分比率に従い分散投資を行い、信託財産の着実な成長を目指します。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号：JP投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2879号

加入協会：一般社団法人投資信託協会